

Ⅱ 水産林務部水産局 各課所管事業

1. ほたてがい対策調査（水産振興課：国費補助）

1. 1 赤潮・貝毒監視事業：貝毒プランクトンモニタリング

担当者 調査研究部 平野和夫・清河 進・品田晃良

（1）目的

全道沿岸の有毒プランクトンの出現状況から貝毒力の上昇期および下降期を海域別に推察し、関係機関に速報して、貝類の計画的出荷に役立つ。

（2）経過の概要

網走水試の担当海域は網走南部（網走沖）、および能取湖の2海域で、網走南部（網走沖）については4～8月の期間、月1回の頻度で0 m、10 m、20 m、および30 mの4層から、また能取湖については4～7月は月2回、8～11月は月1回の頻度で0 m、10 mの2層から、各10採水し貝毒プランクトンの出現数を計測した。

また、宗谷南部（頓別沖）海域については4月の1回のみ、網走北部（紋別沖）海域については

3、4月の2回のみ、表層から底層までの4層（頓別：0・10・20・30 m、紋別：0・15・25・40 m）から各10採水し貝毒プランクトンの出現数を計測した。

（3）得られた結果

結果は、「貝毒プランクトン速報」として関係機関に電子メールを4～11月の間に計19回配信した。そのうち、7月24日には「貝毒プランクトン速報（号外）」として、「対EU輸出ホタテガイ生産海域における毒素産生性プランクトン検査」で出現した麻痺性貝毒プランクトンについて速報した。

また、全道の結果を中央水試がとりまとめ「赤潮・特殊プランクトン予察調査報告書」としてHP上で公表することになっている。